

まえにきたことがあるけれど、そのときはなにもおもわなかったけど、今日きたらおもいました。二度とばくだんがおきないように(辰巳小の五年の女子より)。

この場所へきて見て改めて、原水爆のおそろしさを知った。前に松戸市文化ホールというところで「原爆写真展」を見にいったけど、その当時(そのとき小学校四年生

それなりにその恐ろしさを知ったけど、今改めてみて、このようなことがあってはいけないということを実感した。

雨の中馬川家四人見学しました。長崎(主人)生れです。人ごとは思えませんでした。

展示場にあった被爆前の久保山愛吉さんの写真(免許証)が大変若々しいのに、いろいろなどころで見ると久保山さんの被爆後の写真は非常に痛々しい。その差が大きいのに思いをあらたにしました(京都 池田)。

ふねをみていたらこのふねがむかし水の上をはしってたとは思わなかった。でも、いろいろ字をよんだらわかった。

東京に住んで二十年、はじめてここに訪れました。ここにきて、ビキニ被爆の重さがどれほどなのか実感として分りました。忘れてはならない!!

核廃絶のために世論をもっと広くしてゆきたいものです。第五福竜丸よ! 頑張れ!! その日が来る迄。げんばくのはいをうけた人がかわいそう(小学一年 K・I)

### 写真集「母と子でみる第五福竜丸」を読む

寄せられた感想

「母と子でみる第五福竜丸」は、核兵器と戦争を廃絶する、ために有益な本と存じます。

木村 健二郎

とか成功させたいものだとしみじみ思います。

塩川 孝信

私にとっては一生忘れることのできない事件であるだけ身の引きしまる思いで読ましていただきました。これからの核ぬき運動を何

「母と子でみる第五福竜丸」を拝読しました。「ビキニ事件」当時の、私も一主婦として大きな衝撃のなかで、みなさんと病院に久保山さんたちをたずねたり、その後

の原水爆禁止運動に動いた日々を思い出しながら読みました。そして沢山の大事なこと(その当時から今日につづく大切な歴史)を改めて、新しく、深く教えられました。私はこの本を多くの人にすすめたいと思います。大人がよんで子供たちに話してきかせるのに、大変いい本だと思います。この本をよむこと自体で、自分の心もすっかりしてくる内容ですから。

松田 解子

### 編集後記

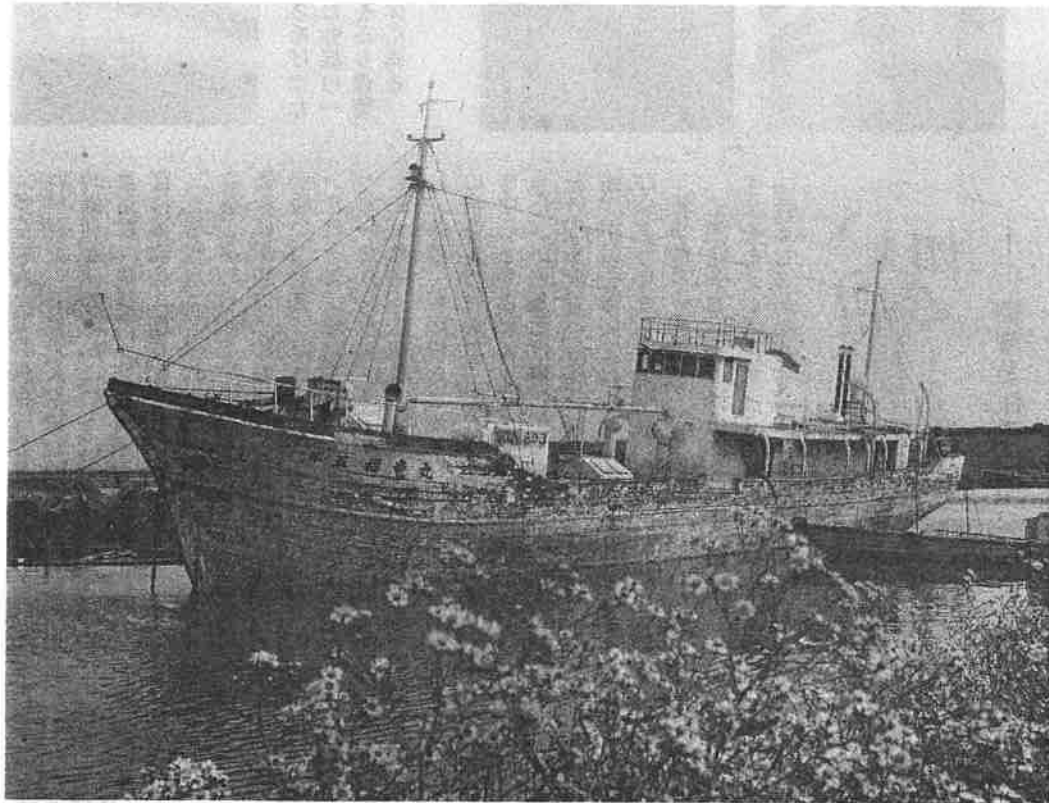
▼これまで福竜丸の保存のために尽力されてこられた、南部公園緑地事務所の塩野健一郎氏が三月末で退官された。夢の島にユーカーリを植樹した塩野さんはユーカーリ博士として有名。ユーカーリは100mの大木に育つという。夢の島のユーカーリは、まだまだ赤ん坊とのこと。▼昔、田舎から大物が育ったのは、家の柱に太い木が使われたことに関係があるのではないかとわけています。子どもたちは木の力強さに尊敬の気持ちを持つのです」と塩野さん。夢の島のユーカーリがそれまでに成長するには、七〇年から八〇年かかるといふ。夢の島は未来の子どもたちのものかもしれない。福竜丸も未来の船として保存し、子どもたちに残していきたい(は)。

●100万人参観者運動を!
85年 3月 来館者数 7,046名
通算 1カ月平均来館者数 5,169名
当月 1日平均来館者数 261名
通算来館者数 547,947名

## 福竜丸だより

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2  
都立・第五福竜丸展示館内  
電話 (521) 8494



1969年春撮影

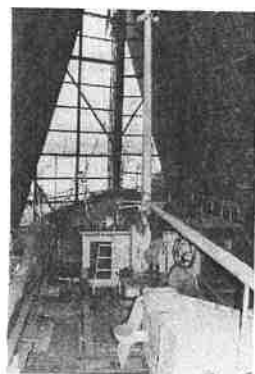
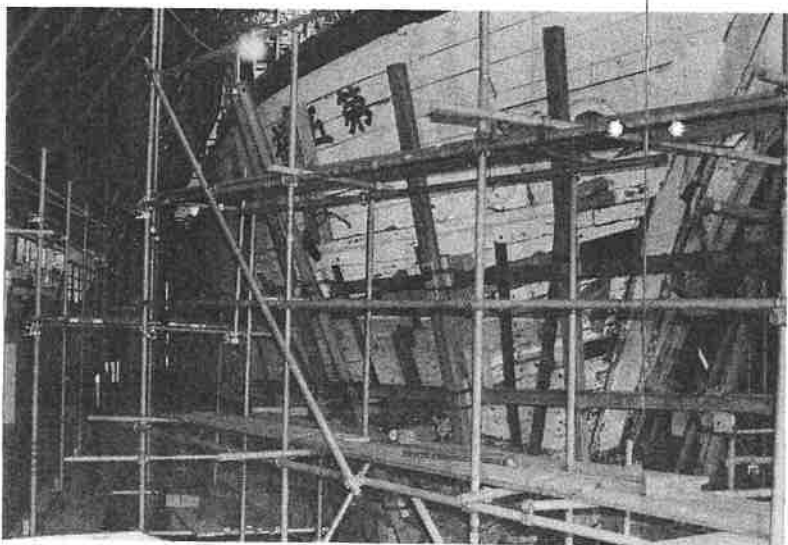
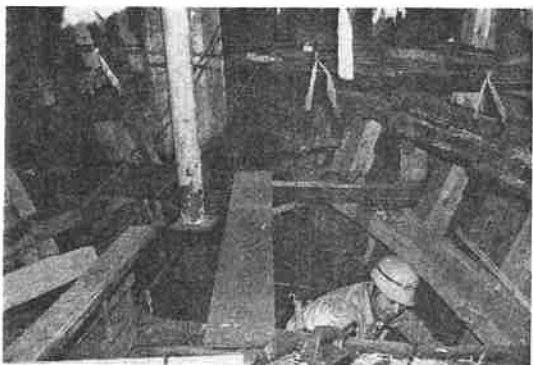
大つぶの雨が降るたびに、思いつくのです。生ぐさい船の中に入って、ドブ泥の水をかい出している人達のことを……  
海のものとも、山のものとも形になっていない、そんな保存運動だったことも……  
大きな男の人が立っている、ゴミや砂ぼこりの真中に、手をふりながら立っている。その横に、今にもたおれそうな、かたむいた船が弱々しく姿を見せていた。  
猛々しく見えたのは、船ではなくその大きな男の人で、「人間」、そして、船をそこまで捨て去って、消え去ることを望んだのも、まさしく、「人間」。  
私が初めて船と出合って感じたこと……  
そして、目で見、身体で感じ、心にまで無言に語りかけてくる船と一つのまにか、話しをしている自分に気がつきました。  
いろいろな意見がある、いろいろな解釈もあるけれど、「核」の恐ろしさと、「平和」を守り続けることを、第五福竜丸は展示館の中で、叫び続けているのでしょう。

鶴貝 雅世

△江東区在住▽



垂れ下がっていた船首・尾を油圧ジャッキで上げた。支柱との間にできた隙間はコンクリートで固めた。船首部分は約七〇センチ上がった。



船首のかさあげのため、はがした外板は一枚一枚番号をふり保管。後で再び船体に張る。



多くの人たちの保存への熱い思いが実り、一月末より船体の本格的修理が始められている。工事は東京都(施行)、文化財建造物保存技術協会(監督指導)、落合組(工事担当)、平和協会の四者で協議、進められているが、船体の傷みは予想以上に激しく、難工事が続いている。

これまで、船首部分の負担となっていた飲料水タンク、トイレ、キャブタン(揚錨機)を取りはずし、船首、船尾のかさ上げ、支柱の補強が行なわれ、四月より船内を中心とする60年度分の工事に入った。出来るだけ現状のまま残すという方針で、骨格を内部から補強、甲板を除いては外観は変わらないようにする。

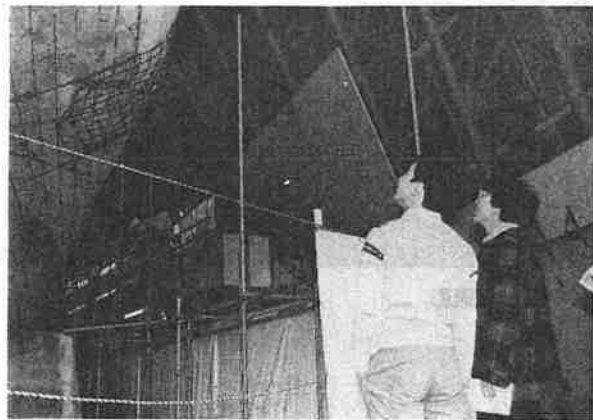
新造船より困難  
工事は連日、七、八人の手ですすめられている。船大工さんは、「新しい船を作る以上に大へん

いのちあるもの抱くが  
如く一刻み込むこの熱い願い

期待と注視の中で船体の本格修理すすむ



肋骨は一本一本型どりし、新材で補強する。カーブがあるため一枚板で出来ず、何枚もつなぎ合せて型材を作る。



「ポロポロになった船がかわいそう」「はやくなおしてください」…来館者の期待と関心も高まる。

だ」と語りながらも、仕事に余念がない。

何んとかして救いたい、

●塩野健一郎さん

(南部公園緑地事務所)

七四年に福竜丸の引き上げを任せられ、最初は正直なところ、大へんな船を引き受けたという気持ちでしたが、作業の過程で愛情を感じるようになりました。その後、港湾局に移り、二年前にまた南部公園にもどってきましたが、船体の傷みの激しいのにはびっくりしました。何んとかして救わなければと思いい、公園関係者に訴えて続け、やっと工事が行なわれることになり一安心です。歴史に残る船を保存しようという気風が、もつとあればと思います。

●日塔和彦さん

(文化財建造物保存技術協会)

これまで神社、仏閣、民家など古建築物を扱い、木造船は初めてです。木造船はいたるどころ曲り材などで苦労します。和船の場合、とびきりいい材料でなければ作れないのですが、福竜丸の場合、節約して特別に良い材料でなくてもじょうぶなように構造計算されています。先日、神田の古本屋で昭和十五年に初版され、戦争を置いて二十四年に再版された木造船の本を見つけました。福竜丸とほぼ同じ技法でした。当時、日本の木造船技術は東南アジアまで輸出されていた。世界最高レベルの技術だったと思われまう。そういう点からも、福竜丸の保存は貴重なことです。

●第五福竜丸を設計した

南藤藤夫さん

ありがたく思っています。一生うれいことです。他の人たち(福竜丸を建造した大工さん)も大へん喜んでます。娘が東京にいますので工事中、一度行きたいと思っています(和歌山県古座在住)。

人生のひとつの足跡として 落合 巖さん(落合組)

かつて福竜丸の陸上引き上げの仕事をし、今回の工事をまた任せられ、ひとつの宿命を感じる。二十年前なら断っていた。いまなら自信がもてる。現実に木造船を失い、船大工がいなくなっている。この仕事は普通の船大工では出来ない。いま任せている船大工の(手前より、落合巖さん、日塔和彦さん、山崎繁さん)



がどどん湧いてきた。小さな子どもたちもたくさん見に来ている。核の恐ろしさを浸透させ、すべての人が核をなくすため力を合せるべきだ。この仕事を任せられたことは、人生のひとつの足跡として誇りに思っている。



### ベトナムから、焼津から、各地から

人も映画も、資料も

三月展示館寸幕

一日おきに雨、不順天候、続きの弥生三月も船に会う人は増加し約七千名。昨年(五千名)を上回った。団体も遠く山形・岩手・京都からと多く、千葉県船橋市の生協のお母さんと子どもたちは連日各地区毎にわかれて来館。核兵器全面禁止への署名に全身でとりくむとの青年や、観光バスガイドさんの新入社員研修もありにぎやかで華かな日もいくつか。焼津市役所の職員、船大工さんと共に見学し



た。

#### 久保山さんの碑の前で握手

三月二十七日、まだ氷雨降る展示館にベトナムから二人の代表が訪れた。グエン・マイン・カムさんとティ・キエムさんで日本ベトナム友好協会の創立30周年にあたり同協会が招待した代表団で訪日來二週間、広島など各地を訪問、帰国直前、第五福竜丸をの希望で同東京都連が案内したもの。グエンさんはとりわけ保存運動に強い

#### テープ・資料の寄贈

原水爆被爆者の証言をテープに収録、その貴重でぼう大な記録(千二人)を広島・長崎・沖縄の資料館・図書館等に寄贈公開する運動を長年つづけている伊藤明彦さん(元長崎放送勤務・現在東京都在住)から三月末、二巻のテープが展示館に寄贈された。一巻は第五福竜丸漁労長見崎吉男さんの証言「ビキニに被災して(約二時間)、もう一巻はロンゲラップの被ばく

関心を寄せ、ベトナム人民に寄せられた日本国民の力強い支援の根源に原水爆を決して使わせてはならないとの誓いがあり、第五福竜丸の保存の心もベトナム人民の心と一体だった。ともに核兵器廃絶へ力を合わせたい」と久保山記念碑前で力強くみんなの手を握りしめた。ベトナム解放十周年の日も近い。

#### 連続の映画会

新宿のACTミニシアターで三月十四日三回にわたり「第五福竜丸」と「原爆の子」の連続上映会。映像と語りで綴るその日の福竜丸との立派なリーフもあり、大石又七

者トータクさんの証言「ロンゲラップからの叫び」(約40分)。伊藤さんと前田哲男さんがそれぞれ聞き手となり一九七三年・七四年に録音されたもの。

また、東京の小沢謙吉さんから、資料室建設の一助にと、初期の原水爆禁止運動に関する文献資料、雑誌、新聞の切り抜きなど多数が贈られた。ダンボール箱十八箱でいま整理中(資料・書籍等整理される場合は是非展示館に寄贈下さい)。

さんを囲む座談会もひらかれた。月末、ある教科書出版社から、62年度用中学校社会科教科書に久保山記念碑の写真を使用したいとの申し入れがあった。

#### 第五福竜丸平和協会第64回理事会の概況

日時 85・3・25 (月) 午後0時半〜2時 会場 神田・学士会館  
参加理事 檜山義夫、斎藤鶴子、猿橋勝子、田沼肇、本多喜美  
1. 第63回理事会議事録承認  
2. 活動報告(略)  
3. 昭和60年度予算 展示館開館以来はじめての船体の本格修理の完成に万全を期すことを柱とし、前年度比約四割増の予算を決定。  
4. 当面の活動方針 (1) 新年度より本格化する船体修理に対し定例協議等を通じ問題点・要望を明確にし完全修理に力を尽す。あわせて、床・天井・出入口等館内の補修・改善など要請していく(2) 資料室建設について、事務所改善を含め対都接渉を檜山副会長、田沼理事を中心に強める(3) 60年度第一期展示替計画、展示館開設九周年記念見学会などは事務局で計画をたてる(4) 次回理事会は五月十三日予定、役員改選・59年度決算等を行なう。

### 図書室に第五福竜丸の模型

大石又七さん、和光中学校に寄贈

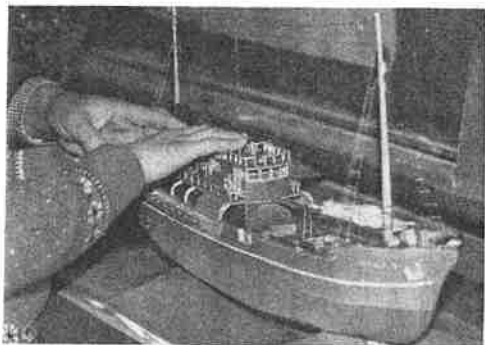
一昨年の秋、元第五福竜丸乗組員、大石さんは和光中学校(町田市)の生徒たちの要請で、展示館で事件のことを語った。生徒たちのひとり高橋しのぶさんがいた。高橋さんは小さいころから、目が不自由。「模型を作って、船のことを説明してあげたい」と、大石さんは仕事の合間をぬって模型を作り、一年半ぶりに再会した生徒たちに手渡した。

花束と感謝状を受け取る大石さんの目が潤んでいた。全盲の少女の手をとって自ら作った船のあちこちを案内する大石さんの添えた手のなんとやさしかったことか。

三月一日、大石さんは第五福竜丸の模型一号船を、その製作のきっかけともなった東京町田市の和光中学二年三組の生徒に贈った。テレビで報道された番組の中で、大石さんは「やりたいと思ったことができて私のほうこそうれしか

#### 大石又七さん談話

思っていた以上に歓迎してくれて、感激させられた。自分の言葉で話す以上に模型が役立つことがわかった。船を見て、事件を知らない人には知ってもらい、忘れかけている人には思い出してもらいたい。船を作ったよかったです。



高橋さんに手を添え説明する大石さん。

### 航海に出たよう

高橋しのぶ

第五福竜丸をもらった時に、たぶん船はガラスの中に入っているんだろうと思っていたら、そうではなくて、板の上につくってあったので、すぐにさわられた。せっかくもらっても箱の中だったらつままないなあ、なんて思っていたから受け取ってすぐに「ちょっと、さわってごらん」と言われて、台の上に手を出したら、そこにはガラスじゃなくて、第五福竜丸があった。すぐに、船にさわれてすぐよかったです。思ったし、うれしかったです。

この模型船は本物の何分のいくつなのかな? 五十分の一っていったっけ? もし、この五十倍っていったら、どれくらい大きくなるのかな? 教室ぐらいなのかな? それともプールぐらいなのかな? 学校ぐらい? (まさか、そんなにないよね)。休憩時間に、大石さんに船の各部分を説明してもらった。私

は模型船にそってさわっていただけだが、人が乗れる大きな船に乗っている新米の私にベテランの乗組員の大石さんが船の中をあちこちと案内しながらいろいろと教えてくれて、これから航海に出ようとしているような楽しい気持ちに、ちょっとなりかけた。その時、この船は死の灰を浴びたんだって、ことを思い出した。この船も被爆者なんだ。船って、実際にどんなものなのか、形の上で全然見当がつかなかった。あんまり大きくて、いっぺんに全部みる訳にいかないから。でも、小さな第五福竜丸で、それが少しわかってきた。まだ完全じゃないけど。説明してくれて、大石さんありがとう。心で受け取った小さな第五福竜丸は、学校だけじゃなく、私の心にも置いて、大石さんの心を思い出すようにしたい(この感想は、点字によって書かれました)。